

『パレットに舞え！』

作者 梶井 春香（ますいはるか） ※生徒創作

上演 令和5年度山口県高等学校演劇講習会 有志短編上演（2023.12.27）

上演団体 山口県立山口中央高等学校演劇部

上演時間 20分～25分くらい

作品紹介 美術部に転校生がやってきた。恋、友情、後悔、名前のない気持ち……。ある告白が部員の心を色づけ、動かし始める。

登場人物 男子2人、女子4人

上演許可を得るための連絡先 asakawa.miyoko.tg@m.ysn21.jp

（山口中央高等学校演劇部顧問 浅川美代子）



令和5年度 山口県高等学校演劇講習会 上演台本

上演3
(有志短編)

山口中央高等学校

榊井 春香 作

パレットに舞え!

【登場人物】

クロサワ 三年女子。美術部部长

鈍感なのはキャラなのか素なのかは誰もわからない。

アカミネ 二年男子。

突然現れた謎の転校生兼新入部員。猪突猛进、素直属性。
スタートから自身が全人類恋愛対象だと発言をする。

アオイ 三年女子。

自分は自分、他人は他人がモットー。
常にヘッドホンを首からかけて、いつでも人を遮断できるようにしている。

モモサキ 二年女子。

アカミネと同じクラス。
“恋愛って男女の前提で成り立つものでしょ”

ブッキー 三年男子。アカミネの幼馴染。

アカミネとの関係を修復したい。

シロセ 二年女子。

堂々としているアカミネに羨ましさを覚える。
最近、自分が同性の先輩に抱いている気持ちが何なのか悩んでいる。

ある高校の美術部。

ブッキーとモモサキがブルーシートを囲んで作業している。ブルーシートの上には巨大な白いオ
ブジェ。アオイは自席で黙々と絵を描いている。クロサワとアカミネはなにやら談笑。

シロセ登場、と同時に部員の視線が一気に集まる。

シロセ すみません、委員会が長引いちゃって、

アカミネ、シロセのもとへ駆け寄って

アカミネ シロセさんっすね!こんちはっす。

シロセ ……誰ですか。

シロセに近づくアカミネ。

クロサワ こちら、新入部員のアカミネくん

アカミネ ですよ！

シロセ アカミネ……？

モモサキ 噂の転校生くん。

アカミネ いやあ今日一日、ほんっと有名人で困っちゃうっすねー。

シロセ へえ……。

アカミネ んじゃ改めまして。二年三組、アカミネですよ！高校生では珍しき転校生っす。一年の時は県外の高校行つて。ブツキーとはお隣さんで幼馴染。あと中学んときも美術部でした。あーていうか、さつきから思ってたんすけど何作ってるんすか？これ。

シロセ えっと活動の一環で、共同制作つて言うか……

アカミネ へー！すげーっすね。んじゃ俺、どこやりましたか。こう見えて意外と器用なんすよ。まあ中学時代は幽霊部員だったんすけどね！ほらあんまり本気って感じでもなかったんで……

ブツキー 変わってないな、そのマシンガントーク。

アカミネ そう？……久しぶりに会えてうれしいよ、ブツキー

アカミネ、ブツキーに抱きつこうとするが避けられる。

アオイ、突然手を止めて

アオイ どこやるって、まだ部員じゃないでしょ。

クロサワ アオイ！

アカミネ、じっとアオイを見つめる。

アオイ 何？

アカミネ 先輩と一緒にやらないんすか？

アオイ なにが？

アカミネ あれ。

アカミネ、共同作品を指さす。

アオイ 何か文句でも？

アカミネ え、いや

クロサワ 基本は自由だからね。アオイは参加してないの。

アカミネ へえー、そういうのもありなんすね

アカミネ あ、そうそう！もう一つ自己紹介あるんすよ。

シロセ これ以上？

アカミネ 俺、全人類恋愛対象です！

シロセ え

アカミネ 俺の基本情報なんで、ぜひ知っといってもらえると！

間

モモサキ ここでも言うんだね。

アカミネ もちろーん

シロセ ここでも？

モモサキ クラスの自己紹介でも言ってたから。

シロセ そうなんだ。

モモサキ あーまあ多様性だよね、多様性。ほら最近よく聞くやつでしょ。

アカミネ まあ、そんなとこ？

アオイ くだらない。

アオイ、再び自分の世界に戻る。

クロサワ ねえ、アカミネくんって力仕事いける？

アカミネ いくらでもお任せください。

クロサワ 待ってたよー、こういう男子部員！

シロセ ブッキー先輩も男子ですけどね。

ブッキー そうだぞ、クロサワ。

クロサワ、ブッキーを無視して

クロサワ じゃあとりあえずこれからよろしくね。アカミネくん

ブッキー おい

アカミネ はい、よろしくっす！

モモサキ よろしくー

アカミネ あっ！

アカミネ、ポケットから紙を取り出す。

シロセ なにそれ？

アカミネ 入部届

ブッキー・シロセ ゴミかと思った。

アカミネ ひどっ。んじゃ出してくるっすー

アカミネ退場

間

クロサワ じゃあアカミネくんにもこれ手伝ってもらおうから……

モモサキ いやー正直言ってあのキャラはないわ。

シロセ え？

モモサキ アカミネ。『俺、全人類恋愛対象です！』って。変わってるアピールっていうの？引くんだけど。

クロサワ モモ

モモサキ 要するにーゲイ？とかバイ？とかそういうことでしょ。変って言うか気持ち悪くない？

シロセ 気持ち悪いって

モモサキ 男女で恋愛するのが普通。同性は結婚もできないんだから。

クロサワ だけどモモ、さっきまで多様性だって

モモサキ いやー私たちも言われること増えたじゃないですか。事あるごとに多様性を認めよう、個性を大

事にしよう、自分らしく生きようって。ほんと便利な言葉ですよー。

シロセ そんな言い方しなくても

モモサキ まあこういう言葉は覚えといて損はないですね。受け入れたフリしやすいですもん。

クロサワ フリって……

モモサキ あ、というかー先輩たちも思ってるんじゃないですか？あたしみたいにあいつの前ではいい人のフリして、

クロサワ 思っていないよ……別に悪いことじゃないんだし。

シロセ そうだよ。

モモサキ いや私も悪いなんて言ってないですよ。ただ受け入れろって態度が嫌なんです。

クロサワ 私はそんなふうには思わなかったけど。

モモサキ それにー、私たちって当事者じゃないですよ。

クロサワ そうだけど

モモサキ だからむりなんですよ、理解するとか認め合うとか。あいつがしてるのは押しつけです。こういう

う世の中だからわかってもらえて当然っていう価値観の押し付け。

ブッキー モモサキ、さっきから言い過ぎ。アカミネなりに考えて言ってるんだから、あんまり悪く思わないでやって

いでやって

モモサキ だから悪いとかじゃなくて。……ブッキー先輩は気持ち悪いって思わないんですか？

ブッキー 思わない。

モモサキ じゃあ受け入れてるんですね？

ブッキー それは……、当たり前だろ。俺、幼馴染だし。

モモサキ 幼馴染って、家近かっただけじゃないですか。それに

ブッキー とにかく！……気持ち悪いなんて思ってねーから。

間

ブッキー ほんと、よくこの状況で描いてられんな。

アオイ なに？

アオイ、ヘッドホンを外す。

モモサキ、アオイに詰め寄って

モモサキ アオイ先輩は私と同じですよ？

アオイ なにが？

モモサキ アカミネのことですよ。

アオイ 関係ないから。私にはなんにも。

シロセ でも同じ部員としてやっていきますし。

アオイ ……そもそも、他人のことで外野が騒いでる時間って何か意味があるの？

モモサキ え？

アオイ 他人がどう生きようが、誰を好きだろうが、私たちに関係ないでしょ。

クロサワ ……確かに。

アオイ 他人に口出すような暇、私にはない。

モモサキ じゃあなんで先輩はあいつに冷たいんですか。

アオイ 冷たい？

シロセ 結構いつもどおりでしたよね。

ブツキー ストレートかよ。…俺も思ったけど。

シロセ 思ってるじゃないですか。

アオイ 私はただ彼とは違う世界で生きてるだけ。

クロサワ 同じ三次元だよ？

シロセ 部長、多分そういうことじゃないですね……。

クロサワ あれ？

モモサキ ならアオイ先輩はあたしと同じじゃないですか！

アオイ どころが？

モモサキ あいつのこと、受け入れられないってことなら

アオイ 私は騒がしい人が苦手なだけ。普通だとかそうじゃないとかはどっちでもいい、結局は他人でし

よ？

モモサキ でも

アオイ どうしてモモサキは同じになりたがるの？

モモサキ え？

アオイ 私とモモサキの価値観が同じだとして、それでどうなるの？何かメリットでもあるの？

モモサキ いや

クロサワ まあまあ二人とも。私たちがこんなことになっても、ね？

モモサキ ……

ブツキー アオイが久しぶりに口きいたと思ったらこれかよ。

アオイ 先に話しかけたのはどっちよ。

クロサワ まあまあ二人とも。

モモサキ もういいです。なんか、みなさんお利口なんですね。

クロサワ そういうわけじゃないと思うけど。

ブツキー ……クラスのほうは？

モモサキ 残念ですけど、あたしみたいなのばかりですよ。

アオイ 他人に干渉して何が楽しいんだか。

シロセ アオイ先輩……

モモサキ まあ部活ではうまくやっついていくんで。それでいいですよね？

ブツキー わざとアカミネを傷つけないなら俺はそれで。

クロサワ 私も。
モモサキ そうですか。
クロサワ でも、もしモモがどうしてもダメだってなったらちゃんと言って。
モモサキ ……
クロサワ モモだって大事な部員なんだから。
モモサキ ……部長ってほんとお人好しなんですわね。
クロサワ そう？
モモサキ 私が絶対無理って言ったら何とかできるんですか？
クロサワ え？

アカミネ登場

アカミネ アカミネ参上！
シロセ 急に出てこないでよ。
アカミネ ちゃんとドアから入ったよ。
モモサキ はいはい。
アカミネ 何の話してたんすかー

アカミネ、クロサワのほうを向く

クロサワ いや、あの、えーっと

アカミネ、答えを待たずに

アカミネ そうそう、今顧問に会ってきたんすけど、アオイ先輩！
アオイ なに。
アカミネ 先輩って美術部の裏番ってまじすか？
アオイ はあ？
アカミネ 絵のことなら先輩に聞けって
アオイ お断りします。
クロサワ はやっ
ブツキー まだ何も頼んでねーよ。
アカミネ えーなんですかー
アオイ 距離感近い人、好きじゃない。
アカミネ なるほど。

アカミネ、アオイから離れて

アカミネ 俺にー！絵のことー！おしえ……
アオイ そういう意味じゃない！

アオイの珍しい大声に部員、驚く

ブッキー ばかだなあ。

アカミネ、小走りアオイの席に戻ってくる

アカミネ 何したら教えてもらえます？

モモサキ 購買で貢ぎ物でも買ってきたら？

アオイ なにしたって教えない。他当たって。クロサワとかブッキーとかいるでしょ。

アカミネ 嫌っす。

アオイ なんで。

アカミネ さっき先輩の絵、見せてもらったんすよ。

アオイ あいつ勝手に……。

アカミネ 俺、それ見てなんかこうズキユンって。心臓撃ち抜かれたっつか

ブッキー それって

アカミネ あ、いやそういう意味じゃないっすよ。ぜんっぜんタイプじゃないですし。

アオイ はあ!？

モモサキ ……最低。

アカミネ でも俺とは全然違うから。

シロセ どういうこと？

アカミネ こう、先輩には世界がどんなふうに見えてんだろうなーって。人として知りたいって思ったんすよ。

アオイ ……

アカミネ これって理由にならないですか。

部員、どうなんだという目でアオイに注目する

アオイ ……帰る!

アオイ以外 ええ!

クロサワ え、ちょっと待ってアオイ!

シロセ アオイ先輩!

アオイ退場

モモサキ ……楽でいいよね、あんたは。

アカミネ え?

モモサキ 羨ましい。その素直さ? いや図々しさ?

一同、モモサキに注目

モモサキ ……私も今日は帰ります。

クロサワ え、ちょっと
アカミネ モモサキ！

アカミネの声にモモサキ振り返る

アカミネ また明日！
モモサキ ……

モモサキ退場

間

アカミネ あーなんか……すみません。
クロサワ ううん、大丈夫。ありがとね。
アカミネ え？
クロサワ アオイのこと褒めてくれたでしょ。
アカミネ あーいや。率直な感想言っただけで。でも怒らせちゃいました。
クロサワ そんなことないよ。
シロセ 私、あんなアオイ先輩初めて見ました。
クロサワ 私も久しぶりに見た。だからね、ありがとう。
アカミネ 感謝されていいんすかね？
クロサワ うん、表情を引き出したんだもん。アオイにとっても良かったと思うよ。
アカミネ だといんすけど。

間

クロサワ じゃあ、とりあえず始めよつか。あ、アカミネくん、絵具とか準備室にあるから取りに行くの手
伝って……
ブツキー クロサワ
クロサワ ん？
ブツキー ちょっとだけこいつと話したいんだけど。
アカミネ 俺？
クロサワ わかった。えっと
シロセ 私、行きます。準備室。
ブツキー ありがと。
クロサワ じゃあ

クロサワ・シロセ退場

アカミネ なになになに
ブツキー いや。

アカミネ まだ先だよ？
ブツキー は？
アカミネ 俺の誕生日！
ブツキー ……祝わねーよ。
ブツキー 元気だった？
アカミネ うん、めちゃくちゃ元気！
ブツキー ならよかった。
アカミネ え、なに、それだけ？
ブツキー まあ
アカミネ 生存確認？何それー。生きてるよ、俺。ほらこの通りぴんぴんしてる
ブツキー 前の学校どうだった？
アカミネ ー、まあまあ。こんなにも「まあまあ」が似合う学校あるんだってくらいまあまあ
ブツキー どんなんだよ、それ。

間

アカミネ 「ブツキー」
ブツキー ーん？
アカミネ いやここでも呼ばれてるんだなーって
ブツキー ああ。
アカミネ 俺がつけたよね？そのあだ名
ブツキー 小学生ときな。
アカミネ 気に入ってるの？
ブツキー 他になかったから仕方なく。
アカミネ なら苗字でいいじゃん。
ブツキー ……
アカミネ やっぱ気に入ってるんでしょ。
ブツキー まあな。
アカミネ 俺のこと、忘れてなかったみたいで何より。
ブツキー 忘れるわけねーじゃん。
アカミネ そっか。
ブツキー あのさ、アカミネ。
アカミネ ーん？
ブツキー なんでも相談乗るから。
アカミネ え、なに？
ブツキー ほら、あれだよ。部活とか学校のこととか、家のこととか？
アカミネ ありがと？
ブツキー 俺も成長したって言うか、色々考えれるようになったし、前の俺とはもう違うっていうか、だから
アカミネ ごめんね。
ブツキー ーえ？

アカミネ ブッキー優しいから。
ブッキー は？
アカミネ 俺はもう大丈夫だよ。
ブッキー ……
アカミネ もう気にしないでよ、ブッキー。
ブッキー 何言ってるの？
アカミネ 後悔してたんじゃ。
ブッキー ……
アカミネ あんときからずっと。
ブッキー ……
アカミネ 理解できないんでしょ？俺のこと
ブッキー 違う。
アカミネ 無理じゃなくていいよ。
ブッキー 違うって。
アカミネ いいんだよ、理解できなくて。仕方ないよ。
ブッキー ごめん。
アカミネ 謝らないでよ。
ブッキー お前のこと避けてた。
アカミネ 俺のこと、傷つけないためでしょ？
ブッキー ずっと向き合おうのが怖かった。俺がもっと優しい人間だったら
アカミネ こうだったら、っていうのはやめてよ。
ブッキー ごめん。
アカミネ 俺はさ、またこうやってブッキーと話せるだけで十分なんだ。理解されなくても、向き合おうと
 してくるだけで。
ブッキー ごめん。
アカミネ もー、ごめん禁止令！
ブッキー え？
アカミネ 悪いことなんてしてないんだから。
ブッキー ……
アカミネ それにさー、俺知ってるからね！
ブッキー 何？
アカミネ ブッキーがどうしようもないくらい良い奴なこと。
ブッキー どころが。
アカミネ 雪見だいふく！
ブッキー は？
アカミネ ぜーったいに一つくれるタイプじゃん。
ブッキー ……そんだけ？
アカミネ 十分だよ。俺がブッキーと幼馴染でよかったって思えるにはさ。
ブッキー 家、隣だっただけじゃん。
アカミネ ははっ、言い方！

間

アカミネ ごめんね。あんとき

ブツキー ごめん禁止令。

アカミネ 今回限りは適応外なんですー。

ブツキー 意味わかんねえ。

アカミネ ……

ブツキー 最初？

アカミネ え？

ブツキー 言ったの、俺が最初だった？

アカミネ そーだよ。

ブツキー ……ありがとう。

アカミネ 何が？

ブツキー 教えてくれて。

アカミネ こちらこそ。

ブツキー ん？

アカミネ 聞いてくれてありがとう。

ふと目が合う二人

アカミネ ってなにこれ、はず！

ブツキー 俺もなんか寒気が…

アカミネ ねえ、ブツキー！

ブツキー ……なに？

アカミネ 俺、ブツキーみたいな人であふれる世界作りたい！

ブツキー はあ？

アカミネ 理解されなくてもいいんだ、理解しようとしてくれるだけで。雪見だいふくを分け合えるだけで。

ブツキー そんなに好きなのかよ。

アカミネ んー？

ブツキー 雪見だいふく。

アカミネ まーね。だから俺は俺のことを隠したりしない。世界が俺に追いつくまで！

ブツキー なんだよそれ。

アカミネ ブツキー、見ててよ。俺が世界を変えるところ！

ブツキー バカだなーって思いながら？

アカミネ バカだなーって思いながら。

アカミネ・ブツキー 笑う

ブツキー あーやばい、また寒気が…

アカミネ え、ひどくない？……てか遅いね。

ブッキー くん？
アカミネ 部長たち。
ブッキー あー、俺たちの話終わるまで待ってんだろ。
アカミネ なにそれ、やさし。
ブッキー 終わったって言うてるわ。
アカミネ 置いてかれんの？
ブッキー 鳥肌が止まなくなるから。

ブッキー、出ていこうとする。アカミネ、ついていこうとする

ブッキー ついてくんな！
アカミネ 理不尽！

ブッキー退場

アカミネ、部室をうろろしている

シロセ、段ボールをもって登場

シロセ アカミネくん
アカミネ あ、話長くてごめんねー。
シロセ 全然。ふふっ、なんか嬉しそうだね。
アカミネ わかる？
シロセ お花が咲いてる感じ。アカミネくんの周り。
アカミネ 俺はいつでもバラをまどってるよ。
シロセ ……
アカミネ スルーしないで。

シロセからのリアクションはない。
アカミネ、引き続き歩き回っている。シロセ、ずっと目で追いかける。

シロセ あのさ！
アカミネ えっ
シロセ 恋愛感情ってどんな気持ちなんだろう？
アカミネ はあ？いや人によると思うけど。え、俺のこと恋愛マスターだと思ってる？
シロセ いやそれは全然。
アカミネ なんか傷ついたわ。

シロセ わかんないんだ。自分の持つてる気持ちか恋愛なのか、そうじゃないのか。アカミネくんなら聞ける気がする。
アカミネ どんな気持ち？

シロセ え？

アカミネ そのよくわかんない気持ち。

シロセ ……笑ってほしいって思う。私の言葉で笑顔になってくれるのがすごく嬉しくて、毎日会いたくて。なんていうか、そんな感じ。

アカミネ、少し考えて近くにある絵具の赤と青を手取る。

アカミネ じゃじゃん、問題です。

シロセ え？

アカミネ この赤と青、混ぜたら何色になるでしょう。

シロセ 紫。え、急にどうしたの？

アカミネ じゃあ、赤が恋愛感情、青が友情。そしたら紫は何でしょう。

シロセ ……わかんない。

アカミネ うん、それでいいじゃん。

シロセ え？

アカミネ 感情ってグラデーシオンになってんだよ。赤と青の間にだって名前がない色が無数にある。それと一緒に、恋かどうかなんて無理して決めなくてもいいんじゃない？

シロセ いいのかなー。

アカミネ ーの！

アカミネ、絵具を片付ける

アカミネ ……知らんけど。

シロセ 知らんけど。

アカミネ こういうのはやっぱ責任転嫁しとかないと。

シロセ ダサ！

アカミネ ひど！

アカミネ・シロセ、目が合っふと同時に笑う

アカミネ 大事にしなよ、その気持ち。

シロセ うん。

クロサワ、段ボールをもって登場

クロサワ よいしょー。これで全部みたい……

クロサワ、荷物を下ろして二人を見る。

クロサワ ってなんかお取込み中だった？

シロセ い、いえ全然！ね、アカミネ！

アカミネ え？まあ全然取り込んでないっっちゃ取り込んでないっすけど。
クロサワ その反応、かえって怪しいなー。
シロセ 怪しくないです！
アカミネ そんな全力で否定しなくても。

アカミネ、シロセに近づく。シロセは全力ブロック。

クロサワ なんだか二人仲良くなったみたいで部長としては何よりだよー。

アカミネ 仲良しです。

シロセ 仲良くないです。

アカミネ ところでブツキーは？

クロサワ コンビニ行ったよ。なんかアイス食べたって。

シロセ 自由。

アカミネ ほんとブツキーって。……んじゃ俺も行ってきました！

シロセ え、ちょ、待って。

アカミネ なんで？

シロセ、何か言いたげだが言葉にできない。

クロサワ やっぱりお取込み中じゃ……

アカミネ・シロセ ないです！

クロサワ 仲良しだなー。

アカミネ じゃあ行ってきましたーす！

アカミネ、走って出ていこうとする。

シロセ アカミネ！

アカミネ ん？

シロセ ありがとう！

アカミネ、笑って

アカミネ どーいたしました！

アカミネ退場

クロサワ え、なに。私だけ仲間外れー？

シロセ え、あ、いやそういうことでは

クロサワ なんてね！冗談だよー。

シロセ ……部長っていいわるいですよね。……たまに。

クロサワ そう？アカミネくんって面白い子だね。にぎやかになりそうで嬉しいなあ。

シロセ ほんとに。モモたち、明日来てくれますかね？
クロサワ んー大丈夫じゃない？みーんなここ好きでしょ？
シロセ はい。
クロサワ まあ部長としてはもっともーっと、みんなのことが知りたいけどね。
シロセ 知りたい、ですか。
クロサワ うん、せっかく出会えたからね。好きも嫌いも二の次でまずはたくさん話したいって思う。
シロセ ……ですね。

間

クロサワ あー！
シロセ うわっ、どうしたんですか？
クロサワ やられた……。
シロセ え？
クロサワ 流れでブッキーたちに逃げられたー。
シロセ ああ……。完成させなきゃですもんね。
クロサワ 男手が……。追いかけてくる！
シロセ ええ！いやもういいんじゃない
クロサワ 三度目は許さん。
シロセ 仏の顔も三度まで、ですね。

クロサワ、じわじわと笑い始める。

シロセ え、そんなに笑います？
クロサワ いや、だって、なんか、ふふっ

シロセ、自分の言葉でツボるクロサワを見て

シロセ 好き。
クロサワ え？
シロセ あっ、いや違って。えーと、す、好きな色！先輩は何色が好きなのかなーって。
クロサワ 急に？
シロセ やっぱりこれから色々知りたいなーみたいな？
クロサワ うん？……好きな色。白かな。
シロセ 白？
クロサワ うん、何色にでもなれるから。

シロセ、答えをかみしめている。

クロサワ もっと美術部らしく答えるところだった？
シロセ いえ。先輩らしいです。

クロサワ 褒めてるのー？それ。
シロセ 褒めてます！
クロサワ シロセは？何色が好き？
シロセ 私は、たった今、白が好きな色になりました。
クロサワ そんなに私のこと好きー？(なんてね)

クロサワがまた笑う。シロセ、意を決して

シロセ はい。

クロサワ え？

シロセ 好きです、先輩のこと。も、この部活も、大好きです。

クロサワ やけに素直だね。照れちゃうなー

シロセ たまにはいいかもって思っただけです。知らんけど。

クロサワ 知らんけど？

シロセ ふふっ

クロサワ ふーん？

シロセ な、なんですか。

クロサワ 私もすっごく好きだよ。みんなのこと。

シロセ ……

クロサワ 固まらないでよー。

シロセ だって

クロサワ 知らなかったの？

シロセ 知ってましたよ。先輩のことですもん。

クロサワ なにそれ。

シロセ・クロサワ、目を合わせて笑う。

シロセ 先輩、逃げられちゃいますよ。アカミネたち。

クロサワ そーだった、捕まえてくるー！

シロセ 行ってらっしゃいです。

クロサワ退場

シロセ、その背中を眺める。

シロセ ……白は何色にでもなれるから。

真っ白な作品に色を塗り始める。

上演 山口県立山口中央高等学校演劇部
有志短編上演
日時 令和5年度山口県高等学校演劇講習会
2023年12月27日(水)
会場 KDDI維新ホール